

大

議会だより

磯

「大磯」は吉田茂書

第143号

2008年（平成20年）1月25日発行

12月定例会

- 決まったこと
 - 2施設 指定管理者に 2
 - 75歳以上の医療制度 変わる 3
 - 下水道使用料値上げ 4
- あなたの要望はこうなりました 6



ここは何処？
(答えは裏表紙に)

かつては、子ども達中心に門松や正月飾りを用いて仮小屋（オカリヤ）を作ったりした。この一連の神事を一般にドントヤキ、ダンゴヤキと言うが、大磯では左義長、サイトバライと呼び、国指定の重要無形民俗文化財となっている。

12月定例会が4日から14日まで開かれた。
補正予算5件を含め、計11議案を審議した。
陳情のうち3件を審査し、最終日には議員提案で1件の決議案が提出された。
なお、9月定例会より継続審査となっていた陳情は採択と報告があった。

12月定例会

2施設 指定管理者に!!



福祉センター さざれ石

平成20年4月より町施設管理を直営から指定管理者にする議案が提出された。指定の期間は、平成23年3月まで。

福祉センターさざれ石

大磯町立福祉センターさざれ石の指定管理者を社会福祉法人大磯町社会福祉協議会に指定するもの。

付託された福祉文教常任委員会では賛否同数により委員長採決で可決し、本会議でも採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 応募が1件だが、募集方法に不備はないか。

答 広報やホームページを利用した。県の財界団体や大磯・二宮の事業所10社にも周知した。

問 指定管理者を定め運用する第1の目的は経費の削減だ。年額10万円の削減では理解が難しいが。

答 新年度予算を精査し、経費削減と判断した。サービス向上の具体策など、今後、協議を進めていく。

反対討論

・もう少し時間をかける必要を感じた。町民への説明責任が果たせない。
・経費削減が年額10万円とは、納得できない。

・制度導入は賛成であるが、決定は拙速である。

賛成討論

・指定管理者制度の目的である経費削減と住民サービスの向上が図られる。
・3年間は任せてみたい。住民からの期待も大きい。



大磯運動公園

大磯運動公園

大磯運動公園の指定管理者を応募団体4団体のうち、財団法人神奈川県公園協会・特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブグループに指定するもの。

付託された総務建設常任委員会では全員賛成で可決し、本会議でも採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 多目的広場を芝生化する際、町の負担・経費はあるか。

答 指定管理者が業務を行う。今後は町と協議する。

問 人件費を含めると1千万円の経費削減となるか。

答 400万円位となる。

問 今後、町の負担増についての町長の考えは。

答 運動公園はあまり人気がない状況であるので、指定管理者制度により利用促進を図りたい。

問 利用料金が上がれば、町の指定管理料は下がるか。

答 下がると想定する。

問 自主事業と住民利用との兼ね合いは。

答 一般利用優先の考えである。

反対討論

・応募して選外となった湘南造園の社長とベルマーレの社長は同一人物であり、ベルマーレの選定は不透明である。

賛成討論

・多目的広場の芝生化は難しいが魅力がある。民間の力を借りて公共の施設を有効に。
・経費削減とサービス向上に合った内容だ。
・町民にとって良くなったと実感できる運動公園に。

75歳以上の医療制度 変わる

平成20年4月から施行される後期高齢者医療制度への準備が進んだ。

特別会計の設置と町の事務について必要な事項を定める条例の議案が提出された。

75歳以上の方及び一定の障害がある65歳以上の高齢者を対象に、今まで加入していた医療制度から後期高齢者医療制度に加入することになる。

付託された福祉文教常任委員会では賛成多数で可決し、本会議でも採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 後期高齢者医療制度の被保険者は個人単位であり世帯ごとではないのが従来の制度と大きく違うところだが、周知できるか。

答 広報で周知したい。

問 今までの医療制度との違いは。

答 国保、組合健保、共済などの対象となる加入者

全員が、後期高齢者医療

制度に移行することになり、これまで保険料を納めていない方も納めることになる。

問 保険料の納付方法と対象者数は。

答 年金年額18万円以上で年金から天引きされる特別徴収の方は3千430人。年金年額18万円未満で納付書で納める普通徴収の方は420人と見込んでいる。

問 神奈川県保険料は全国一高いが、なぜか。

答 所得水準が高いため。また、国の交付金があまり望めないことが原因と考えられる。保険料の一人当たりの平均年額は9万2千750円と高いが、平均的な厚生年金受給者（年収201万円）の保険料は6万7千600円の予定だ。

問 保険料の軽減策は。

答 所得の少ない方は、世帯の所得に応じて保険料の均等割の7割・5割・

2割の軽減がある。

問 保険料は分納が可能か。

答 普通徴収となる保険料の納期は9期に分けられる。

反対討論

75歳以上の高齢者を切り離し、医療を受ける権利を抑制することになる。連帯納付義務者という制度も新設され厳しい徴収制度が導入されるので中止を求めたい。

神奈川県保険料は全国一高いが、一方で75歳以上の一人当たりの医療費は、ここ数年30位ぐらいいのところにある。不公平感が強い。

賛成討論

医療制度を続けていくために今回の後期高齢者医療制度は必要だ。激変緩和策なども町民に十分理解してもらえよう努力してもらいたい。

補正予算

一般会計と4特別会計の補正予算が提出された。

一般会計は、629万1千円を追加。歳入は国県支出金、寄附金の増。歳出は児童手当、小児医療費、財政調整基金積立金の増が主なもの。採決の結果、5議案とも可決した。

主な質疑

児童手当

464万円増

問 増額の要因は。

答 対象人数が見込みより48名増えた。所得制限範囲内の人と転入者の増。

駅前トイレ整備

146万円増

問 当初予算1千666万8千円を増額した理由は。

答 新たに水道管を敷くことになったため。管工事とメーターボックスなど。

問 なぜ設計し工事の段階になってわかったのか。

答 今までのJRの水道管を借りていたが町トイレの利便性を考えた。申し訳ない。今後気をつけたい。

教育振興費

6万5千円増

問 部活動補助金増とは。

答 12月24日から27日に大阪府で行われる全国都道府県対抗中学バレーボール大会へ磯中男子1名が、出場するための交通費、宿泊費など。

問 予算へ載せるべきでは。答 次年度では善処する。

修繕料

国小70万5千円、国中11万6千円、本庁舎125万円増

問 修繕料増の内容は。

答 国小の浄化槽ブロワーと放流各ポンプの修繕。国中給湯室の換気扇の修繕。本庁舎地下の雑排水用ポンプと1階窓ガラスの取替えなど。

問 校内修繕は耐用年数がわかっていただけでは。

答 当初予算では考えていなかった。来年度は円費（緊急対応費）でする。

若手職員の給与と 全職員の勤勉手当など引き上げ

大磯町職員の給与に関する条例の一部改正をするもの。

平成19年の人事院の給与改定勧告に基づき

① 若年層に限定した職員給与の引き上げ（中高年層は据置き）。

② 扶養手当5千円を5千500円とする。少子化対策の推進に配慮し、第3子以降に係わる手当を0.05月分引き上げる。採決の結果、賛成多数で可決した。

③ 勤勉手当年間支給月数を0.05月分引き上げる。採決の結果、賛成多数で可決した。

下水道使用料8.9%の値上げ

下水道事業は、本来独立採算の原則の下、下水道使用料で賄うとしているが、財源不足は一般会計から補てんしている。平成16年12月の下水道運営審議会では3年毎に値上げが必要であるとの答申がでていた。

321円増。

減免規定の見直しは。近隣の状況を見てから検討していく。

水洗化率はどうか。供用開始区域では71.9%。

採決の結果、賛成多数で可決した。

一般会計から下水道会計への繰り入れ額は。約4億6千万円。

主な質疑

問 全体の影響額は。平均世帯の値上げ額はいくらか。

答 990万円。平均世帯では2ヵ月で40㎡使用して、

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）	渡辺順子	山口陽一	三澤龍夫	高橋英俊	坂田よう子	竹内恵美子	奥津勝子	浅輪いつ子	清水弘子	柴崎茂	山田喜一	鈴木京子	土橋秀雄	結果
60	大磯町後期高齢者医療特別会計条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	可決
61	大磯町後期高齢者医療に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	可決
62	大磯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
63	大磯町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	●	○	可決
64	指定管理者の指定について （大磯町立福祉センター「さざれ石」）		○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	可決
65	指定管理者の指定について （大磯運動公園）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
66	平成19年度 一般会計補正予算（第3号） 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 老人保健特別会計補正予算（第2号） 介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 下水道事業特別会計補正予算（第2号）	一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
67		国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
68		老人保健特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
69		介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
70		下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	可決
決議案第2号	西湘（こゆるぎの浜）の砂浜再生を求める決議		●	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	可決

○は賛成 ●は反対

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は試みとして、全ての通告質問項目を載せることにしました。
従来どおりの要約文は、本庁舎・支所のロビーに用意してあります。
ホームページでもご覧いただけます。ご希望の方は一報を。

清水 弘子 議員

- 1 大磯町のソメイヨシノの現状は
- 2 鴨立庵西側の葬儀場の対応は
- 3 平成20年度の重点政策は

渡辺 順子 議員

- 1 大磯駅周辺のマンション新築工事について
- 2 平塚・大磯ブロックごみ処理広域化実施計画（案）について

山口 陽一 議員

- 1 大磯町民のための医療行政について問う
- 2 介護予防についての町の取り組みはどうなっているか
- 3 町民の目線での公正な予算配分となっているか

山田 喜一 議員

- 1 第2次地方分権改革が進む中で、町重要課題をいかに推進するべきか
- 2 「元氣な大磯」を推進する町組織体制をいかに整備するのか

土橋 秀雄 議員

- 1 世代交流センター「さざんか荘」の現状は
- 2 機構改革の進展状況はどの様に進んでいるのか

奥津 勝子 議員

- 1 事業の仕分けの進捗状況を問う
- 2 健康診査事業について問う

竹内 恵美子 議員

- 1 町長は公約で「元氣な大磯・教育の大磯」と教育を大事にするということでしたが、具体策はあるのか

鈴木 京子 議員

- 1 町立幼稚園の民営化について
- 2 医療費助成の拡充について
- 3 まちづくりについて

柴崎 茂 議員

- 1 大磯港みなとまちづくり協議会への補助金支出は妥当か
- 2 吉川副町長に関係することで、二宮町9月議会に大磯町民より陳情が提出されたが、任命権者として問題にしないのか
- 3 ごみ処理計画は、議会への提出文書とおり進めるのか
- 4 小学校給食費の徴収に問題はないか
- 5 道路水路管理に問題認識はあるか、あれば列挙し、あわせて解決の仕方を示せ

坂田 よう子 議員

- 1 大磯港を中心とするまちづくりの方針を問う
- 2 旧吉田茂邸建物利活用に係る提案書について
- 3 湘南国際マラソンは「大磯を元氣に！」することにつながるか
- 4 横溝千鶴子氏の教育基金に対する大磯町としての取り組みについて

浅輪 いづ子 議員

- 1 まちづくりについて問う
- 2 部長制廃止のタイムスケジュールは
- 3 地域交通対策計画は
- 4 ごみ処理広域化について

あなたの要望はこうになりました

採択となった陳情

◆定例議会における一般質問と町答併つての陳情

陳情者は、鈴木修氏（国府新宿）。

内容は、一般質問を一问一答方式に改善し、住民にわかりやすくなるよう議会運営をすることというもの。

不採択となった陳情

◆県の医療費助成制度見直しに関する陳情

◆貴町における医療費助成制度維持に関する陳情

この陳情2件の陳情者は、平尾紘一氏（神奈川県保険医協合理事長）。

内容は、県の小児・ひとり親・重度障害者医療費助成制度の一部負担金導入と重度障害者医療の所得制限の導入及び65歳以上の新規の方を助成対象外とする方針を撤回するよう県に意見書を提出する、また、その方針に対し、町は無料を堅持し、所得制限の導入、助成外しを行わないようにというもの。

◆「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正をおこなうよう、国に対しての意見書決議を求める陳情書

陳情者は、土谷正明氏（神奈川県医療労働組合連合会執行委員長）。

内容は、看護職員を大幅に増員するため、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」を改正すること。

また、「看護師の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」を全面的に改正し、「看護職員需給見通し」と統合して、「看護職員確保計画」に改めるよう国に意見書を提出することというもの。

机上配布となった陳情

◆深刻な医師不足を打開するための法律を制定するよう、国に対しての意見書決議を求める陳情書

◆保険でよい歯科医療の実現を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

議員提案による決議

西湘海岸（こゆるぎの浜）の砂浜再生を求める決議を賛成多数で可決

本会議最終日、土橋議員より「西湘海岸（こゆるぎの浜）の砂浜再生を求める決議」案が提出された。

提案理由として、昨年の台風9号による被害が、西湘バイパスのみならず、海岸の砂浜流失にまで及んでいる。地引網ができなくなっており、また、「はまひるがお」の生息地としても、砂浜を早急かつ計画的に再生することとを、強く要望するとの説明があった。

主な質疑

問 12月7日に提出された住民からの同様の内容の陳情は、議会運営委員会において、3月議会で審議することになった。なぜ、その決定に反し同様の内容である決議を出すのか。

答 議会運営委員会の判断がどうということではなく、住民の陳情とは別に私の判断として、純粹に砂浜を早く再生すべきだということで提案した。

反対討論

本来、議会の決議とは行政の事務が遅々として進まない、また、大きく人権が抑圧されている時などに出す。

しかし、今回は、砂浜の再生という行政本来の業務に近く、国も県も十分に承知している。現在、普通に事務が進行していることを見守ることは当然であり、議会は、あまり振り回されないほうがよい。



国府新宿の海岸

明日の大磯が見えてくる

皆さんで

議会傍聴を

3月定例会

2月 21日 本会議（議案上程等）
27日 本会議（総括質疑等）
28日 本会議（一般質問）
29日 本会議（一般質問）
3月 17日 本会議（委員長報告等）
※ SCNにて放映されます。

予算特別委員会

3月 3日 全会計説明
5日 総務関係
6日 建設関係
7日 福祉関係
10日 文教関係

当日、4階議会事務局で受け付け後、傍聴できます。

【編集後記】

新しい年を迎え、心よりお喜び申し上げます。

昨年は台風9号で西湘バイパスの一部が崩落し、夏場は30度を超える日々が続くなど、地球温暖化の影響が私たちの生活に及んでいます。

今議会から、一般質問に対する陳情が採択されて、一问一答方式を取り入れられました。質問する私たち議員側にとって、時間配分、町側からの答弁をいかに引き出すかなど多くの課題が残りました。町民の皆様には、わかりやすいものでしたでしょうか。これからも読みやすい議会だよりをお届けするため、委員一同、一層の研さんに励みます。

表紙の答 道祖神社（北下町）

議会だより編集委員

委員長	柴崎 茂
副委員長	浅輪 いつ子
委員	高橋 英俊
	竹内 恵美子
	清水 弘子
	土橋 秀雄
	百瀬 恵美子
議長	渡辺 順子
副議長	